

平成30年度
おおすみの地域力表彰
～おおすみの元気を未来へ～

受賞者一覧

- ・ 高隈地区コミュニティ協議会（鹿屋市）
- ・ ヒメヒコ会（鹿屋市）
- ・ おおすみハナマルシェ実行委員会（鹿屋市）
- ・ 犬猫を守る会 天使のおうち（鹿屋市）
- ・ 中辻 正人（鹿屋市）
- ・ 柳迫地域における福祉拠点づくり実行委員会（曾於市）
- ・ 吉ヶ谷村づくり会（曾於市）
- ・ 片野 美秀（志布志市）
- ・ 又木 幸一（志布志市）

平成31年3月

鹿児島県大隅地域振興局

たかくまちく

きょうぎかい

高隈地区コミュニティ協議会

鹿屋市

地域の人口減少、少子高齢化が急速に進展する中、地域や高齢者が抱える様々な課題の解決や地域活性化に主体的に取り組む団体です。

平成25年4月に設立された同協議会は、「高隈の恵みを活かし、人々が集う郷づくり」を将来像として掲げ、まちづくり部会、事業部会、福祉部会、安全安心部会、スポーツ部会において、様々な事業に取り組まれています。

地域資源である「石蔵」を地域の交流・憩いの場として活用した「石蔵カフェ」や「たかくま元気おこし祭」の開催、介護予防活動支援教室の実施のほか、小中学校と連携した「盆がま体験」、休耕田を活用した「お田植え行事」や「稲刈行事」など世代を超えた交流も行われています。

また、高隈の豊かな自然に訪れるツアー客への案内ガイドや地域の食材を生かした山菜弁当の提供など収益事業にも取り組まれ、持続可能なまちづくりを目指されています。

かい

ヒメヒコ会

鹿屋市

平成19年度に大隅半島に住む現役高校生による市民参加型の創作ミュージカルとして初演以来、12年にわたり公演している「高校生ミュージカルヒメとヒコ」の保護者で構成される運営のサポート組織です。

当ミュージカルは、「文化でまちおこし」をテーマに地元アーティスト・市民が一体となって創り上げたものであり、大隅地域を中心に、県内各地で行われるイベントや式典への出演や地域の小・中学校へのワークショップや福祉施設への慰問にも積極的に取り組まれるなど、大隅、鹿屋の文化をPRする役割も担われています。

当会は、ミュージカルに出演する高校生の精神・健康面でのサポートのほか、ミュージカルの12年にわたるロングラン公演の運営を支えてこれ、大隅、鹿屋の知名度向上に大きく貢献されています。

じっこういいんかい

おおすみハナマルシェ実行委員会

鹿屋市

大隅のいいものをPRしたい、作り手の力になりたいという思いから異業種の女性たちが実行委員会を設立し、おおすみハナマルシェを開催されています。

当マルシェでは、大隅への熱意を持った事業主により、オーガニック食品やアクセサリ、フラワーアレンジ体験や子供向けの物販など様々なお店が出店されます。

各種イベントと共催することで、毎回多くの集客を図り、出品されるこだわりの商品は好評を得ており、県内外から多くのファンが集まるなど、大隅地域はもとより域外の人とモノを繋ぐ取組として大隅地域の活性化に貢献されています。

また、出店者の起業や新たな販路開拓につながる取組として、産業振興にも寄与されています。

いぬねこ まも かい てんし

犬猫を守る会 天使のおうち

鹿屋市

大隅地域において、保護した犬猫の新たな飼い主を探すため、譲渡会を開催されるほかインターネットを活用した里親探しや、新たな飼い主への飼養指導を行うほか住民向けの勉強会を開催されるなど犬猫の終生飼養・適正飼養の啓発活動に積極的に取り組まれています。

これらの活動により、動物愛護思想の普及が図られ、「人と動物の共生する地域社会の実現」に貢献されています。

なかつじ まさと
中辻 正人

鹿屋市

鹿屋市において、花きの大規模経営モデル農家として、先進的な取り組みや技術確立を図り、花きの産業振興に貢献しており、また、指導農業士、普及協力委員として研修を通じて、若手農家等の育成に積極的に取り組まれています。

昭和42年の就農当初は、串良町農業青年クラブを立ち上げられ、青年団活動を通じて研修や異業種交流に取り組まれながら、両親とともに露地野菜経営に取り組まれていましたが、昭和51年から電照菊の栽培を開始され、キクの周年栽培、自動選花結束機の導入など先進的な取り組みや技術確立を図り、地域の花き農家のモデルとなっています。

また、指導農業士として農高生や農大生の研修の受け入れや研修会での指導・助言を通じて、地域の農業後継者の育成に貢献されています。

やなぎさこちいき ふくしきよてん じっこういいんかい

柳迫地域における福祉拠点づくり実行委員会 曾於市

曾於市柳迫校区地域福祉活動拠点「皆来館（みなくるかん）」において、障害の有無や年齢・性別等に関わらず、子どもから高齢者まで気軽に集い、地域での居場所や役割を持つことができる様々な活動を行い、地域の活性化や地域社会づくりに寄与されています。

地域の誰もが自由に参加できる「ふれ愛カフェ」をはじめ、地域の方が指導者となって、折り紙、紙芝居、竹細工などを行う「児童クラブふれあい活動」や正月用飾り、いこもち作りなどの「手作り教室」などを開催されています。

また、自治会単位で支え合いマップを作成したり、認知症サポーター養成講座を開催するなど共生・協働による地域づくりにも貢献されています。

よしがたに むら かい
吉ヶ谷村づくり会

曾於市

曾於市吉ヶ谷地区において、「ふるさとの道サポーター」として、県道約5km区間の清掃等を長年実施されており、地域環境の保全や共生・協同による地域社会づくりに貢献されています。

自治会活動の補助団体として、夏祭り、米販売、すみやきクラブ等の活動のほか、結成当初から道路清掃等をされていましたが、平成23年に「ふるさとの道サポーター」へ加入したことにより、地域ぐるみによる定期的な道路清掃や草刈り、彼岸花の植栽等を実施されています。

この活動により、住民による自主的な美化活動が波及しており、子どもたちを含め住民のふるさとを思う気持ちが育まれ、地域社会づくりに寄与されています。

かたの よしひで
片野 美秀

志布志市

志布志市森山地区のサロン「コーヒータイム in 森山」において、高齢者や子どもたちをはじめとした地域住民が交流する場所を提供するなど地域の活性化に取り組まれています。

冬場にJAの移動販売車を外で待つ高齢者の方々を見かねて、待合場所としてJA跡地を開放し、移動販売車を待っている時間にコーヒーを振る舞ったことが取り組みの始まりで、その後、サロンとして活動されています。

これまで家にとじこもり気味であった高齢者が参加して、楽しく活動するようになり、定期的なサロンの活動を通じて高齢者の生きがいづくりに寄与されています。

また、音楽の弾き語りやレクリエーションを通じて小学校や保育園の子どもたちと高齢者が交流したり、出張子ども食堂を開催し、子どもたちと地域住民が食事を楽しみ、交流を深める場所を提供するなど地域の活性化に貢献されています。

またき こういち
又木 幸一

志布志市

曾於地域において、農家体験実習受け入れ等を通じて、農業教育や後継者育成等の円滑な就農・定着に大きく貢献し、曾於地域の人材育成に寄与されています。

昭和47年から農業高校や農業大学校の学生の農家宿泊研修を受け入れ、農業後継者育成に使命感をもたれ、独自で研修・宿泊施設として若葉寮を建設され、多くの実習生を受け入れて農業技術習得等の支援をされています。

また、昭和55年からは指導農業士として、曾於地域の組織的な就農支援や農業青年育成の中心的な役割を担ってこられ、近年は志布志市の農業を守るため、志布志市農業公社の研修終了生が早期に地域の担い手となるよう農地のマッチング支援や労力補完支援を行い、良き相談相手となり、地域の農業後継者の育成に貢献されています。